

平成17年度5学年の総合的な学習の時間の指導計画

第5学年テーマ「自然大好き！げんきっ子」

(82時間+
ありがとう6年生プロジェクト20時間
+英会話8時間)

1. テーマ設定の意図

昨年度は、経塚山を舞台に四季の自然を感じながら、自分の決めた生き物の生活や変化を追求してきた子どもたちである。時と場の変化で移り変わっていく生き物の変化を実感し、自然に対する愛着を深いものにしてきた。そこで今年度は、子どもたちが好感をもっている「自然」の中に、体丸ごとダイナミックに飛び込み、自然には天然の自然、人が作り上げた自然の2つの自然があることに目を向けさせる。そして人が作り上げた自然の中からわき起こってくる、強いパワーをもつ自然があることまでとらえさせていく。それらを通し、人も自然の一部であるという共生の立場から、人と自然とのかかわり方についての考えをもたせていくようにする。ダイナミックな活動の中で自然に対する愛着をより深め、「自然大好き！だから大切にしていきたい。」という心情の深まりを期待し本テーマを設定した。

2. めざす子どもの姿 < * 思いをもつ ○ 追求する ◇ 振り返る >

* 自らがいる自然環境について進んで考えようとする子ども。

○3つの「自然」の違いを実感し、「自然」についての自らの考えをもつことができる子ども。

◇活動や活動の中で考えたことを振り返り、「自然」と「自分」のかかわり方について考える子ども。

3. 年間活動計画

月	活動内容	視点	関係施設・人等	評価規準
4	◎ 水生生物をみつけよう！ <10> ・ クロメダカの観察・採取 ・ 矢代川での生き物探し ⇔	地 環 健	水原・岡田さん 新井・ホテルを 守る会	* 自らがいる自然環境に疑問をもち追求しようとする。 ○ 様々な「自然」を視点を持って追求する。 ◇ 追求したことと自分の現在の生活環境とを結びつけて考える。
5	・ 用水での生き物探し (自然のおもしろさ不思議さ体感) ・ 大まかな「自然」のバリエーションを体感・把握		妙高自然の家	
6	◎ 「自然」について調べよう！ <17> ・ 妙高自然の家で体験 ・ 水原の幻の大滝で体験	地 情 環 国	水原・岡田さん 妙高自然の家	* 「自然」の違いを感じ進んで追求しようとする。 ○ 「自然」の違いを生かし、方法を工夫して追求する。 ◇ 自分が考え、追求したことについて振り返って考える。
7	◎ 「自然」の中でチャレンジ！ <25> ・ 自然教室の計画を立てよう！ ・ 自然教室の準備をしよう！ ・ 様々な方法を使って追究活動 (資料、本、インターネット、聞き取り、対談等)			
8	↓			* 自然と共に生きる生き方を多くの人に伝えようとする。 ○ 自然と共に生きる生き方を考え、方法を考えて発信する。 ◇ 発信したことと自分の現在の生活環境とを結びつけて考える。
9	・ 自然教室			
10	◎ 第3の自然をみつけよう！ <10> ・ 様々な方法を使って追究活動 ⇔	地 環	新井砂防事務所	* 自然と共に生きる生き方を多くの人に伝えようとする。 ○ 自然と共に生きる生き方を考え、方法を考えて発信する。 ◇ 発信したことと自分の現在の生活環境とを結びつけて考える。
11				
12	◎ 自然と共に生きる生き方をみんなに伝えよう！ <20> ・ げんきっ子ニュース作り ・ 様々な方法を考えて発信活動 (新聞、壁新聞、パンフレット、ホームページ等) ⇔	情 福 国 健 環	上越タイムス 上越ケーブル ビジョン	* 自然と共に生きる生き方を多くの人に伝えようとする。 ○ 自然と共に生きる生き方を考え、方法を考えて発信する。 ◇ 発信したことと自分の現在の生活環境とを結びつけて考える。
1	(回覧板、発表、インターネット等)	情		
2	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> ありがとう6年生プロジェクト <20> ・ マーチング練習・移杖式 ・ 卒業音楽会等 </div>			
3				

①単元名「自然大好き！げんきっ子」～自然とともに生きる生き方をみんなに伝えよう～

②単元の目標

身近な自然環境の様々な問題に興味をもち、調べたり取材したりする中で、自然環境を守るために自分たちのできることを考え、伝えたい情報をビデオで発信することができる。

【 評価規準 】

＜思いをもつ＞

体験的な活動をもとに、自然環境の様々な問題に関心をもち、解決するために自分たちのできる活動を考えようとする思いをもつ。

＜追求する＞

自分たちで解決の方法を考え、活動計画を立て、取材や見学などの体験的な活動を通して、課題を追求し、ニュース番組を作成することで、思いを表現する。

＜振り返る＞

友達との情報交換を通して、お互いの学習したことをこれからの生活に活かそうとする。

③単元について

児童は、国語の単元「ニュース番組作りの現場から」で、ニュース番組作りの仕組みを知り、情報を発信するためには、内容や伝え方に相手を意識した工夫が必要であることを学んだ。また、社会の単元「放送局のはたらき」では、放送局を実際に見学したり。資料を調べたりした中から、たくさんの人々の手で情報が「正確に、早く、分かりやすく」伝えられることを学んだ。

総合学習では、児童は「自然大好き！げんきっ子」をテーマに、身近な自然環境に関して学習を進めてきた。（その計画を別紙に示す）それらを学ぶ中で、人々の暮らしが大きな影響を与えていることに気付くことができた。そこで、生き物の命である川や水が、人々の暮らしの中で汚されている現状や地球温暖化の問題、地域の自然環境を課題として追求することにした。活動を進めていく中で、地域の人や専門家、関係する会社の人々等、様々な人との関わりが必要である。人々の意見を生かした教材や資料を上手に集める工夫も必要である。そして、集めた資料やデータから自分たちが伝えたいことを映像化するために考えることになる。また、自分たちが実際にできる活動を考え、自分たちの考えの入った提案性のあるニュース番組作りを目指す。時間を3分と決め、ニュース番組形式にすることで、「伝えたいこと」をしっかりと短いビデオの中で、伝えるように工夫する。

④児童の実態（5学年 男子42名、女子43名）

第5学年は、活発な児童が多く、多様な場面で新しいことにみんなで取り組もうとする姿勢が見られる。学習課題に対しては、自分の意見を積極的に示すことができ、学年行事

や活動の中では、学年全体で話し合いの時間を持って、意見交換をしながら計画し、進めてきている。また、児童の自然環境に対する興味は高く、春から行ってきた総合の活動を楽しみながら学習を進めている。さらに、自然環境を守りたいという気持ちも芽生えはじめ、自然環境の課題に取り組もうとする意識は高い。しかし、実際に、それらの課題に対して気付いてはいるものの、家庭内での実践を行っている児童はまだ少ない。

情報の収集に関しては、学習センターやコンピュータを使って情報を集める方法に慣れてきた。また、インターネットで必要な情報を検索して調べたり、中学・高校生用プレゼンテーションソフトを用いてプレゼンを作ったり下経験があり、かなりコンピュータに慣れ親しんでいる。一方、デジタルカメラやビデオカメラを用いての取材やビデオ編集の経験は少ない。さらに、新聞や紙芝居形式などの情報を発信する方法はいろいろと経験してきているが、ビデオカメラなどの機器を用いて発表する経験も少なかった。伝える相手を意識し、自分たちが伝えたいことを分かりやすく映像化できるようにしていく。

⑤単元の指導計画（全20時間）

事項	時間	活動内容	支援
1. 課題をもつ	3	<p>○総合的な学習の時間の活動で、自然環境とふれあってきたことから、学習課題をもつ。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の水質調査から考えること ・自然教室での体験から考えること ・身近な自然環境問題から考えたこと <p>○身近な自然環境問題について調べてみたいことについて話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「川の汚れ」汚れの原因、家庭排水について ・「ゴミの問題」ゴミの分別、粗大ゴミ、ゴミの捨て方 ・「地球温暖化」温暖化の原因と対策 ・「エコについて」エコに関わっている活動 <p>○課題について調べる方法・取材方法を考える(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の資料・本 ・インターネット ・地域の人、関係の会社の人に、メール、電話、直接話を聞く、取材など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で体験したことを振り返る資料を提示する。 ・図書館活用 ・コンピュータ活用
2. 追求する	13	<p>○課題別グループごとに調査活動をする。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材するための方法や手順を確認する。 ・調べた内容をどのようにまとめていくか考える。 	

		<p>○調査した結果から必要な資料を作成する。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査したデータを整理編集する。 ・調査結果について考える。 <p>○ビデオ撮影の仕方を学習する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ機器の操作の仕方 ・三脚の使い方 ・フレーム、パンの使い方 <p>○ビデオ編集の仕方を学習する。(1) ※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオの取り込み方 ・文字の入れ方 ・つなぎ方 ・効果 ・アフレコ <p>○資料をもとに、ビデオを撮影する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班毎に役割分担を行う プロデューサー、アナウンサー、カメラマン ・3分間で伝えたい内容をシナリオにする。 ・正確にわかりやすい内容になるように撮影する。 <p>○ビデオ編集を行い、ニュース作りをする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影したビデオを用いて編集する。 ・必要な文字、効果音等を入れて、見やすい映像を作る。 <p>○ニュース番組を完成する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報に間違いはないか、見やすいニュースになっているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ編集の操作を教わる ・伝えたいことを表現する方法を援助する。
3. 振り返る	4	<p>○身近な自然環境問題について振り返る。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの課題が明確にニュース番組として表されているか確認する。 <p>○発表会を行う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの番組について学年全体で情報交換しあう。 	

※ 上越教育大学の大学院学習臨床コース情報教育分野の大学院生が学習支援を行う。